

会 議 録

(文責：立石)

会議の名称	那珂川市社会教育委員 第5回会議		
開催日時	令和6年3月18日(月) 19:00~19:40	開催場所	那珂川市中央公民館 第3学習室
出席者	【委員】 池田委員、柴田委員、坂井委員、山崎委員、明星委員、渡邊委員、 西委員、谷川委員、平野委員 【事務局】 立石社会教育主事 【その他】 福岡教育事務所 吉川社会教育主事		
配布資料	・ 会次第 ・ 資料1 第4回会議録 ・ 資料2 令和4・5年度の活動方針 ・ 資料3 令和5年度研修会アンケート・レポート集約結果 ・ 資料4 令和5年度活動報告 ・ 資料5 令和6年度活動計画(案) ・ 資料6 令和6・7年度研究テーマ		
事務局	1. 委員長あいさつ 2. 議題 (1) 令和6年度筑紫地区社会教育委員研修会について 前回までの会議で、那珂川市としての案がある程度固まってきた。人と人との関係性が希薄になり、色々な問題が生じている中で、つながりをつくり、課題を解決し、地域を良くしていくために社会教育ができることがテーマになっていた。研修方法は、太宰府市のように講演とグループワークを行う。子どもだけに焦点を当てるのではなく、社会教育を広く捉えて、参加者それぞれの立場でテーマについての意見交換を行う。		
委員長	事務局から説明があった内容は、あくまでも現時点のざっくりとしたものであり、他市の意見を聞きながら内容を検討していくことになる。事務局の説明に何か補足はあるか。特にないようであれば、この内容を来週の筑紫地区の会議で提案させていただく。		

	<p>【異議なし】</p> <p>(2) 令和4・5年度の活動の振り返りについて</p>
事務局	<p>令和4、5年度の活動テーマは、情報収集ノートの活用や異種分野団体との情報交換、オンラインによる情報共有などであった。出来たこと、出来なかったこと、課題として、今後も検討していくことなど、2年間の振り返りをお願いしたい。</p>
委員長	<p>情報収集ノートの活用は、十分に出来なかった。今後は、会議の場などで情報の共有を続けていかなければならない。オンラインによる情報共有については、会議の回数が少なく、スピード感がないので、LINEを使ってできないかということだった。情報の重要性、個人情報もあるということを考えてもうまく活用できなかった。もう少し実際に会って共有できてもよかったのではないかと考えているが、一旦、活動のテーマとしては、これで終わりにしたい。何かうまく活用できるツールがあれば検討していきたい。</p>
事務局	<p>個人でつながる分は問題なくても行政が入ると難しくなる。個人情報保護の面からも色々と縛りが多く難しかった。ただ、オンラインでのつながりは大事なことであり、委員長が言われたように何か別のやり方があるかもしれないので、次年度のテーマとはしないが、継続課題として検討していければと考えている。</p>
福岡教育事務所	<p>情報収集ノートは、次年度できれば、会議の最後の方の10分でもいいので、各委員が集めた情報を共有してもらいたい。次年度は、委員が変わるかもしれない。初めての委員は何をしたらいいかわからないと思うが、用語集などもあり、メモ帳以外としても活用してほしい。</p>
	<p>【異議なし】</p> <p>(3) 令和5年度の研修会の振り返りについて</p>
委員長	<p>4回の研修を受けての感想を順番に一言ずつお願いしたい。</p> <p>私は、研修を受けて、社会教育というものが少しずつ分かってきたような感じがしている。今までとは別の角度から社会教育を学ぶことができたが、さらにいろいろな角度から見なければならぬと感じた。学んだことを自分の団体の活動の企画にも活かしていきたい。</p>
委員①	<p>4回目の講師の話が、自分たちの活動には合っていると感じた。個人的には、毎回違う講師もいいが、1人の講師の話を深く聞いてみたい。</p>
委員②	<p>私も4回目の講師のお話が一番参考になった。あとは、コロナ以降、世の中が大きく変わっているので、自分も変わっていかなければならないのかな、時代についていけるかなと少し不安にもなった。</p>
委員③	<p>社会教育で1番大切なことは交流だと感じた。社会教育委員になった</p>

	<p>ことで皆さんとの交流が生まれてよかったし、感謝している。団体で役員をする人としらない人の温度差が大きい。たくさんの人に経験してほしい。みんながやればうまくいくのではないか。現実的には難しいが、交流を大切に活動をしていきたい。</p>
委員④	<p>3回目の研修のリレクレーションが印象に残っている。これまで振り返ることはあったが、なかなか次につながっていかなかった。振り返りの重要性に気付かされた研修だった。</p>
委員⑤	<p>最後の研修が頭に残っている。伝えることは、本当に難しいが、自分が楽しんでいないと伝わっていかないのかなと感じた。</p>
委員⑥	<p>難しい研修もあったが、最後の研修の先生は、説明もわかりやすかったので頭に残っている。</p>
委員⑦	<p>勉強になったが、一方で社会教育はとても難しいとも感じた。社会教育には地域の力、人の力が大事で、学校と社会のつながりや地域に対しての関わり方等いろいろ考えさせられた。</p>
委員⑧	<p>研修会はとても密度が濃かった。なによりも皆さんと会う回数が多かったので、親しくお話ができるようになったことが自分にとっては大きい。この出会いをまた何かの形につなげていきたい。</p>
福岡教育事務所	<p>私は、社会教育主事になって3年が経っているので、内容をある程度理解できたが、委員以外の参加者が、どのくらい理解されたかはわからない。難しい話もあったが、研修であったように、ふりかえりすることで理解が深まっていく。何か形を残さなければいけないのではなく、学んだことをじわじわと広げていくことが大切なので、研修会の学びを次年度の会議や研修につなげていってほしい。</p>
事務局	<p>難しくてよく分からない、実践できるか不安などの感想もあるが、講師が話されたことを全てしないといけないわけではない。それぞれ状況が違うので、そういう世界がある、考え方があると知れただけでもいい学びになったのではないか。また、今回は理解できなかったが、勉強してみようとか、活動につなげてみようなどと思ってもらえば一つの成果でもある。そういう意味でも事務局としては、皆さんに良い学びを提供できたと感じている。</p> <p>資料3については、第1回から第4回までの参加者の感想をまとめたものになる。人の意見を知ることは良い学びになるので、ぜひご一読いただきたい。</p>
委員長	<p>前回の研修会後に4回の研修を受けてのレポートの提出をお願いした。集約はするが、冊子までは作らない。各レポートのポイントを抜き出してまとめたものを後日お配りして内部共有したい。</p>

事務局	<p>3. 報告</p> <p>(1) 令和5年度活動報告、令和6年度活動計画について 令和5年度活動報告については、資料4のとおり。 令和6年度活動計画（案）については資料5のとおりである。来年度は、また新たに6月から任期が始まるため、最初の会議で委嘱状の交付を行う。4月に各団体に委員の推薦依頼をお送りするので、提出をお願いしたい。外部研修の九州ブロック社会教育研究大会は、来年度は鹿児島県での開催となり、委員2名の参加を予定している。</p> <p>(2) 次期テーマについて 前回の会議で承認させていただいたとおりである。以前から課題、キーワードとなっている、つながりづくりに焦点をあてていく。また、社会教育課が行っている事業についてもご意見をいただきたい。具体的な活動については、次年度、第1回会議での話しとなる。</p>
委員長	<p>次年度の会議について提案をさせていただく。会議の議長を輪番で回したいと考えている。委員の皆さんがより活発に意見交換できるようにしたい。議長をすることで、会議に主体的に参加できる、発言もしやすくなる。あくまでも議長をするということで、しっかり場を回さないとかそういうことではない。次年度から行ってよいか。</p> <p>【異議なし】</p>
委員長	<p>4. 今後の予定</p> <p>○筑紫地区社会教育委員連絡協議会 第3回会議 会議が太宰府市で開催されるので私と事務局で出席する。</p>
事務局	<p>5. その他</p> <p>(1) 社教情報No. 90の配布について 社教情報の54ページ、55ページに那珂川市社会教育委員の手引きの作成の経緯、概要が載っている。</p> <p>(2) 社会教育委員の手引き その43の配布について 福岡県社会教育委員連絡協議会の令和4、5年度の事業報告になる。</p>
委員長	<p>●閉会 2年間お疲れ様でした。次年度も引き続き、委員に残っていただきたいが、それぞれ委員や団体の都合もある。今期で終わられたとしても、社会教育委員として学んだことを活かして活動していただきたい。</p>

